

平成 21 年度ビルメンテナンス研究助成先一覧

(社)全国ビルメンテナンス協会

1. 助成件数：一般部門 3 件
2. 研究期間：平成 21 年 12 月～平成 22 年 12 月
3. 助成概要：

研究者	垣 罇 直（名城大学理工学部環境創造学科） *代表研究者 正田 浩三（東京美装興業(株)技術部） 桐谷 昇（㈱リンレイ メンテナンス総合研究所）
研究課題名	建物内の汚れ度と汚染度の関連性に関する研究
研究概要	建物内の汚れが目立つ箇所について、汚れと汚染の実態調査を行い、それらの関連性を明らかにする。調査では、清掃後の清浄（清潔）度や使用されている建材の劣化（建築年数）が汚れを左右する要因と考えられるので、それらの影響を検討する。また、汚れ度と汚染度の関連を実験により定量化する。
予測される研究成果	汚れ度や汚染度に影響を及ぼす要因に関して分析した結果を参考に、これまでの汚れ度に注目していた清掃管理から、インフルエンザなど接触による感染を防止するための清掃管理に深化させる効果があると考えられる。
交付予定額	989,500円

研究者	杉田 洋（広島工業大学環境学部）
研究課題名	マンションの居住者評価による清掃品質管理手法の開発
研究概要	マンション（区分所有型集合住宅）居住者の清掃品質に対する要求を定量的に把握し、要求に沿った清掃品質の確保を継続的に可能とするための新たな管理手法として、「マンションの居住者評価による清掃品質管理手法」を開発し、その実用性について検討する。
予測される研究成果	マンション管理組合がビルメンテナンス業者に清掃業務を発注する際、発注仕様の成果品質の評価が可能となり、その評価結果の蓄積は組合員の合意形成の基準となる。また、発注者と受注者が共通の指標により成果品質を評価することにより、双方の満足度向上が可能となる。
交付予定額	500,000円

研究者	瀧 和夫（千葉工業大学工学部生命環境科学科） *代表研究者 町田 基（千葉大学総合安全衛生管理機構） 天野 佳正（千葉大学大学院工学研究科） 相川 正美（木更津工業高等専門学校基礎学系）
研究課題名	ビルピットで生成される硫化水素臭および栄養塩類抑制に関する技術開発
研究概要	有機物を含む雑排水を受け入れているビルピットでの硫化水素ガス発生防止について、その発生とコンクリートの短命化の化学的反応過程に沿って、化学的抑制、下水に含まれる溶解性栄養塩（窒素およびリン）の同時除去が可能となる新材料（マグネシウム材）の開発、および これらの可能性を実規模プラントにて実証実験を通して明確にする。
予測される研究成果	強制的に実施されているビルピットへのエアレーションの必要性が軽減され、ビルピット内の水位を従来通りの高い位置に保つことが可能となり、ビルピット内の清掃頻度を押さえることができる。また、硫化水素ガスの発生が根絶されることから、施設の長寿命化の推進と維持管理担当者の健康障害の防止が期待される。
交付予定額	500,000円